



2021年11月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月7日

上場会社名 株式会社サーラコーポレーション

上場取引所 東名

コード番号 2734 URL <https://www.sala.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 グループ代表・CEO (氏名) 神野 吾郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 武川 裕樹

TEL 0532-51-1182

四半期報告書提出予定日 2021年4月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期第1四半期の連結業績(2020年12月1日～2021年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第1四半期	52,493	1.5	2,876	21.9	2,784	5.0	1,976	2.7
2020年11月期第1四半期	53,290	4.9	2,359	26.8	2,931	34.1	2,032	35.4

(注) 包括利益 2021年11月期第1四半期 2,033百万円 (24.7%) 2020年11月期第1四半期 1,630百万円 (11.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第1四半期	31.38	
2020年11月期第1四半期	32.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第1四半期	193,563	63,186	32.0
2020年11月期	188,011	61,708	32.1

(参考) 自己資本 2021年11月期第1四半期 61,869百万円 2020年11月期 60,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期		10.00		10.00	20.00
2021年11月期					
2021年11月期(予想)		10.00		11.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年11月期の連結業績予想(2020年12月1日～2021年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	112,000	1.1	5,100	8.8	5,200	25.2	3,400	26.6	54.07
通期	220,000	3.9	6,000	1.0	6,500	11.7	4,300	23.1	68.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年11月期1Q	66,041,147 株	2020年11月期	66,041,147 株
期末自己株式数	2021年11月期1Q	3,005,029 株	2020年11月期	3,162,441 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年11月期1Q	62,992,562 株	2020年11月期1Q	62,237,395 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が再拡大した影響により国内外の経済活動が抑制されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

当社グループ（以下、「サーラグループ」といいます。）におきましては、2020年11月期を初年度とする第4次中期経営計画における重点課題「暮らしのSALLAの新展開」「SALLAの浸透」「変革とチャレンジ」への取組みに注力しました。2年目となる当期はコロナ禍のなか取組みを優先すべきもの、加速すべきものを選別し、初年度に描いた目標に向かって積極的に各施策に取り組んでいます。当第1四半期連結累計期間におきましては、サーラエナジー株式会社は、法人向け太陽光発電システム第三者所有モデル「サーラのゼロソーラーサービス」事業を開始しました。本事業は、同社が発電事業者として自家消費型太陽光発電設備等の所有、維持管理等を行い、当該設備等で発電された電力をお客さまに供給を行うものです。サーラグループは地域の総合エネルギー企業として、コスト、CO2削減などお客さまの社会課題解決に向けたサービス提案を強化していきます。また、サーラグループのITシステムを統括する株式会社サーラビジネスソリューションズは、暮らしのSALLA実現に向けて、2021年2月にマーケティング・プラットフォーム事業の株式会社サーラライフスタイルイノベーションを吸収合併により統合し、グループ一体となったIT・デジタル戦略を企画、展開する体制を整えました。デジタルサービスの新たな取組みとして、2021年4月にはサーラの暮らしサービスを一元的に分かりやすく提示するとともに、各種お問い合わせ手続きができるスマートフォン用アプリのリリースを予定しています。さらに、サーラグループが参画する豊橋駅前大通二丁目地区再開発事業は、2021年11月の「emCAMPUS（エムキャンパス）」開業に向けて東棟1階の食の発信拠点並びに同5階の学びや新たなビジネスを創造する拠点の運営準備に取り組ましました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、エネルギー&ソリューションズ事業は取引先である飲食店の稼働率低下により業務用のガス販売量が減少しました。エンジニアリング&メンテナンス事業は取引先企業の設備投資の抑制、延期により受注高が減少しました。プロパティ事業はホテルやレストラン、スポーツクラブの利用客数が大幅に減少しました。その他のセグメントにおきましても、ショールームの来店客数等に影響が生じました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高はハウジング事業、カーライフサポート事業及びアニマルヘルスケア事業は増収となりましたが、その他のセグメントが減収となったことから前年同期比1.5%減の52,493百万円となりました。利益面はエネルギー&ソリューションズ事業における増益に加え、ハウジング事業の営業損失が圧縮するとともにカーライフサポート事業が営業損失から営業利益に転じたことにより、営業利益は前年同期比21.9%増の2,876百万円と大幅に増加しました。一方、前年同期は営業外収益に為替予約に係るデリバティブ評価益を計上しましたが、当第1四半期連結累計期間は同評価損333百万円となったため経常利益は2,784百万円と前年同期比5.0%減少しました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,976百万円と前年同期比2.7%減少しました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

エネルギー&ソリューションズ事業

売上高26,613百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益2,594百万円（前年同期比13.1%増）

新型コロナウイルス感染症の影響により業務用のガス販売量は減少しましたが、前年同期より平均気温が低めに推移したことから家庭用などのガス販売量は増加しました。一方、原料費調整制度に基づき都市ガス販売価格を下方調整したため、売上高は減少しました。利益面は、都市ガスの売上総利益が増加したことから営業利益は増加しました。

エンジニアリング&メンテナンス事業

売上高6,224百万円（前年同期比7.5%減）、営業利益449百万円（前年同期比10.2%増）

設備工事及びメンテナンスの両部門における完成工事が減少したことにより、売上高は減少しました。利益面は設備工事、メンテナンス及び土木部門の利益率が高い水準を維持したことから営業利益は増加しました。

ハウジング事業

売上高7,244百万円（前年同期比16.9%増）、営業損失173百万円（前年同期は営業損失512百万円）

住宅販売部門は注文住宅、分譲住宅ともに販売棟数が増加しました。住宅部資材加工・販売部門は、既存取引先の事業エリア拡大に合わせて取引拡大に努めたことにより受注が増加しました。以上により、売上高は増加し営業損失は縮小しました。

カーライフサポート事業

売上高3,320百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益21百万円（前年同期は営業損失62百万円）

新型コロナウイルス感染症の影響によりショールームへの来店客数が減少したため、フォルクスワーゲンの新車販売台数は減少しました。一方、アウディの新車販売台数は増加しました。また、フォルクスワーゲン、アウディともに中古車の販売台数が増加しました。以上により、売上高は前年同期並みとなり営業利益は増加しました。

アニマルヘルスケア事業

売上高7,263百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益178百万円（前年同期比4.1%減）

畜産部門、ペット関連部門ともに動物用医薬品の販売は堅調に推移したため売上高は増加しました。利益面は販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は減少しました。

プロパティ事業

売上高911百万円（前年同期比20.4%減）、営業損失152百万円（前年同期は営業利益14百万円）

不動産仲介部門は、大型物件が減少したことにより手数料収入が減少しました。ホスピタリティ部門は、新型コロナウイルス感染症の影響により宴会やブライダル、レストランなどの利用客数が減少したため業績が落ち込みました。この結果、売上高は減少し営業損失を計上しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産は193,563百万円と、前連結会計年度末と比較して5,551百万円増加しました。これは主に、「仕掛品」が3,749百万円増加したこと、「受取手形及び売掛金」が3,013百万円増加したこと、「商品及び製品」が952百万円増加したことに対し、「現金及び預金」が1,604百万円減少したこと、「有形固定資産」が738百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は130,376百万円と、前連結会計年度末と比較して4,073百万円増加しました。これは主に、「短期借入金」が6,758百万円増加したこと、「電子記録債務」が1,870百万円増加したことに対し、「長期借入金（1年内返済予定を含む）」が1,831百万円減少したこと、流動負債の「その他」が1,180百万円減少したこと、「未払法人税等」が906百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は63,186百万円と、前連結会計年度末と比較して1,478百万円増加しました。これは主に、「利益剰余金」が1,316百万円増加（親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1,976百万円増加、配当の実施により660百万円減少）したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2021年1月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,169	20,565
受取手形及び売掛金	23,115	26,128
電子記録債権	1,329	1,649
商品及び製品	14,232	15,184
仕掛品	13,716	17,465
原材料及び貯蔵品	271	270
その他	5,333	6,220
貸倒引当金	△226	△243
流動資産合計	79,940	87,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,085	19,813
機械装置及び運搬具(純額)	9,318	9,238
導管(純額)	18,256	17,810
土地	34,096	34,048
建設仮勘定	1,329	1,409
その他(純額)	1,319	1,346
有形固定資産合計	84,404	83,666
無形固定資産		
のれん	413	397
その他	1,213	1,135
無形固定資産合計	1,627	1,532
投資その他の資産		
投資有価証券	7,725	7,979
長期貸付金	4,649	4,519
繰延税金資産	5,287	4,583
その他	4,809	4,479
貸倒引当金	△433	△438
投資その他の資産合計	22,038	21,123
固定資産合計	108,070	106,322
資産合計	188,011	193,563

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,855	21,167
電子記録債務	3,416	5,287
短期借入金	9,363	16,121
1年内返済予定の長期借入金	7,860	8,795
未払法人税等	1,148	241
賞与引当金	2,403	1,529
役員賞与引当金	5	2
完成工事補償引当金	55	56
工事損失引当金	137	92
ポイント引当金	278	278
修繕引当金	1	1
その他	16,437	15,256
流動負債合計	61,964	68,828
固定負債		
長期借入金	47,536	44,770
繰延税金負債	74	77
役員退職慰労引当金	209	187
株式報酬引当金	332	368
修繕引当金	110	115
債務保証損失引当金	193	193
退職給付に係る負債	12,420	12,417
その他	3,461	3,418
固定負債合計	64,338	61,547
負債合計	126,302	130,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	25,169	25,169
利益剰余金	29,423	30,740
自己株式	△2,126	△2,014
株主資本合計	60,490	61,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	725	821
繰延ヘッジ損益	23	70
退職給付に係る調整累計額	△812	△942
その他の包括利益累計額合計	△63	△50
非支配株主持分	1,281	1,317
純資産合計	61,708	63,186
負債純資産合計	188,011	193,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)
売上高	53,290	52,493
売上原価	38,331	36,787
売上総利益	14,959	15,706
販売費及び一般管理費	12,599	12,830
営業利益	2,359	2,876
営業外収益		
受取利息	24	22
受取配当金	23	28
持分法による投資利益	-	60
デリバティブ評価益	528	-
その他	116	193
営業外収益合計	692	305
営業外費用		
支払利息	40	39
デリバティブ評価損	-	333
持分法による投資損失	8	-
投資事業組合運用損	30	-
その他	40	24
営業外費用合計	120	397
経常利益	2,931	2,784
特別利益		
固定資産売却益	8	9
投資有価証券売却益	164	-
特別利益合計	173	9
特別損失		
固定資産除売却損	23	23
特別損失合計	23	23
税金等調整前四半期純利益	3,081	2,769
法人税、住民税及び事業税	308	99
法人税等調整額	720	650
法人税等合計	1,029	749
四半期純利益	2,052	2,019
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	42
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,032	1,976

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	2,052	2,019
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△462	96
繰延ヘッジ損益	29	46
退職給付に係る調整額	12	△129
その他の包括利益合計	△421	13
四半期包括利益	1,630	2,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,611	1,990
非支配株主に係る四半期包括利益	18	43

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年12月1日至2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	エネルギー& ソリューションズ 事業	エンジニア リング& メンテナンス事業	ハウジング事業	カーライフ サポート事業	アニマル ヘルスケア事業
売上高					
外部顧客への売上高	27,981	6,726	6,197	3,287	7,103
セグメント間の内部売上高又は 振替高	510	1,275	2	2	-
計	28,492	8,001	6,199	3,290	7,103
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	2,293	407	△512	△62	185

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	プロパティ事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	1,145	52,442	848	53,290	-	53,290
セグメント間の内部売上高又は 振替高	142	1,933	401	2,334	△2,334	-
計	1,287	54,375	1,249	55,625	△2,334	53,290
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	14	2,326	58	2,384	△25	2,359

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△25百万円には、セグメント間取引消去313百万円、全社費用△338百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	エネルギー& ソリューションズ 事業	エンジニア リング& メンテナンス事業	ハウジング事業	カーライフ サポート事業	アニマル ヘルスケア事業
売上高					
外部顧客への売上高	26,613	6,224	7,244	3,320	7,263
セグメント間の内部売上高又は 振替高	405	1,052	3	2	0
計	27,019	7,276	7,247	3,322	7,263
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	2,594	449	△173	21	178

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロパティ事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	911	51,577	916	52,493	—	52,493
セグメント間の内部売上高又は 振替高	124	1,588	315	1,904	△1,904	—
計	1,035	53,166	1,232	54,398	△1,904	52,493
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	△152	2,917	51	2,968	△92	2,876

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△92百万円には、セグメント間取引消去262百万円、全社費用△355百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。